

「Web リスクセンス検定[®]」受検案内

***「リスクセンス検定」ホームページに常に最新情報が掲載されています。**

ご参照ください。(下記記述も変更する場合がありますがご了承ください。)

(1) 「Web リスクセンス検定[®]」とは

「Web リスクセンス検定[®]」は、“個人と組織のリスクセンス度”を客観的に測定する日本で唯一の検定試験です。

検定の狙いは、現在の社会で求められるある一定のリスクセンスを有する人の育成です。“個人と組織”に想定されるさまざまなリスクに対する健全な感覚を、確認し、磨き、また、維持する目的で創設されました。

本検定は、NPO 法人リスクセンス研究会が実施するもので、受検申し込みから結果・評価判定まで、すべて Web 上で行なわれます。

“個人と組織のリスクセンス度”を測る基準は、LCB 研究会により開発された「LCB 式 組織の健康診断[®]」法を用います。「リスクセンスとは何か」から、この診断法の実際と有効性などについては、検定の「公式テキスト」である『個人と組織のリスクセンスを鍛える』に詳しく解説してあります。“個人として、また組織として”実りある受検となるよう、受検に先立ち「公式テキスト」を熟読されることをお勧めします。

(2) 「Web リスクセンス検定[®]」の特色と活用方法

- ① 職業・資格・経験・知識などは不問です。一個人として、誰でも、いつでも Web 上で受検できます。
- ② 「一般事業所」におけるリスクセンスを対象とした全般的内容ですので、高度な専門的知識は不要です。しかも、簡便かつ定量的にリスクセンス度が測られるので、学習の指針が具体的に把握できます。
- ③ “個人”と“組織”の両方向からリスクセンス度を向上させるために、独自に開発され実証を積み重ねている、信頼おける理論に基づいています。
- ④ 複数人による団体（会社などの組織）での受検が簡便に行なえるのが特色です。組織の中の立場別（一般実務職・中間管理職・上級管理職）に“個人のリスクセンス度”を測り、立場間の意識の差異の分析などから“組織のリスクセンス度”を総合的に明らかにします。
- ⑤ リスクに関わる業務の能力評価の一手段として簡便に実施できるので、組織規模の大小に関わらず、リスク管理やコンプライアンス研修などに応用できます。
- ⑥ 出題内容が受検 1 回ごとと全く同一になることはないので、繰り返し受検でき、リスクセンス度の定期的錬磨に使えます。
- ⑦ 検定合格者には、NPO 法人リスクセンス研究会より各称号（第 1・2・3 種—後述）の合格証が贈られます。

(3) 「Web リスクセンス検定[®]」受検要領

〈準備〉

- ① 本「受検案内」で、または Web で「リスクセンス検定[®]」ホームページへアクセスし、検定の概要と受検サイトの流れを確認してください。不明な点は事務局へお問い合わせください。

リスクセンス検定

ホームページ <http://risksense-kentei.net>
事務局メール info@risksense-kentei.net

なお、「NPO 法人リスクセンス研究会」ホームページでは、「LCB 式 組織の健康診断[®]」法から検定の概要を説明していますので、あわせてご覧ください（研究会 HP から受検サイトに入れます）。

リスクセンス研究会 ホームページ <http://risk-sense.net> 事務局メール info@risk-sense.net

- ② 受検には Web 上で「事前登録（申し込み）」が必要です。所定の指示に従ってお手続きください。
- ③ 「登録」完了後、「リスクセンス検定[®]」ホームページの「リスクセンス検定を“受検”」をクリックすると検定が開始します。

〈受検の種類〉 申し込みの仕方により、つぎの 2 種類に分かれます。

[A] 個人受検（個人で申し込む）

[B] 団体受検（一組織の複数構成員からなる団体で申し込む）

以下、それぞれについて、受検の流れの概略を説明します。

[A] 個人受検

〈登録から検定開始まで〉

- ① 「登録（受検申し込み）」画面で次の必要事項を記入・選択します。
氏名・年齢（生年月日）・連絡先・メールアドレス・受検コース（分野・立場・組織規模）
検定料支払い方法
- ② 検定料の支払いをしてください（クレジットカード払い、または金融機関口座振込）。受検料は各コース共通 3,150 円(税込) /1 人 1 回受検 です。
- ③ 以上で登録完了となります。登録が受け付けられると事務局から受検に必要な固有の ID・パスワード（以下 ID）が、登録されたメールアドレスに送付されます。
- ④ 「リスクセンス検定」ホームページで「リスクセンス検定を“受検”」をクリックし、取得した ID で「受検」サイトに入ります。これで検定開始です。

〈受検コースについて〉

次の 4 項目について受検者情報を登録します。組織内の立場別に設問が出題されます。

- ① 分野（業種） 一般事業所、医療・介護、サービス 他【現在、「一般事業所」のみ受検可能】
- ② 立場
所属する組織内における立場をつぎの 3 つから選びます。
 - ・ **一般実務職** 第一線の現場で実務を担当している方
 - ・ **中間管理職** 部下をもち 1 つの業務範囲内で管理職として実務を遂行している方（主任、係長、課長、グループリーダーなど）
 - ・ **上級管理職** 複数の異なった範囲の業務部門を担当している管理職の方（部長、工場長、支店長、部門長など）
- ③ 組織規模
従業員数により、大（300 人以上）、中（50 人以上 300 人未満）、小（50 人未満）
- ④ 勤続年数
20 年以上、10～20 年、5～10 年、5 年未満

〈ID・パスワードの有効期限について〉

- ① ID を取得してから 1 週間以内に受検を完了してください。1 週間を過ぎると ID は無効になります。
- ② ID は受検 1 回限り有効です。再度受検の場合は、新規申し込みから別途取得が必要です。

〈出題の構成・形式〉

全体が 2 部に分れ、第 1 部→（休憩）→第 2 部の順に進みます。所要時間は 1 時間強程度です。

【第 1 部】 では「個人のリスクセンス度」を試します。得点結果により、「リスクセンス検定」受検の合格・不合格が判定されます。

【第2部】では「組織のリスクセンス度」を診ます。受検者が“自らが所属する組織の”リスクセンス度を評価しながら、組織のリスクセンスとは何かを考え、理解を深める場です。（検定の合格・不合格には無関係です。）

【第1部】（個人のリスクセンス度）

- 〈出題〉 全25問。1題の回答を終えるとつぎの問題が出題されます。
- 〈回答方法〉 各設問に対して提示される5つの回答例から1つを選ぶ5択方式です。いちばん適切と判断する回答例のラジオボタンをクリックして答とします。答は後で修正可能です。なお、未回答の設問があると終了できません。必ず全25問に答えてください。
- 〈設問内容〉 知識力（5題）、リスクへの対応力（17題）を問う問題につづき、文章題（3題）が出題されます。内容は「LCB式 組織の健康診断[®]」法の11項目全般に関するものです。設問形式や問題サンプルは本書にある「練習問題」を参考にしてください。
- 〈制限時間〉 制限時間は40分です。残り時間が時計で示されますので、あわてずに考えて回答してください。制限時間内に第1部を終了し休憩から第2部へ進むこともできます。なお、40分経過すると（未回答の問題があっても）自動的に第1部が終了しますのでご注意ください。
- 〈回答確定〉（第1部終了）全25問の回答を終え、「次へ」ボタンをクリックします（この時点での回答変更はできません）。これで第1部が終了し、休憩に入ります。
- （休憩） 10分間です。省略して第2部を開始することもできます。

【第2部】（組織のリスクセンス度）

- 〈概要〉 受検者が自身の所属している組織を、「組織のリスクセンス度」がどのレベルにあるか、“受検者個人の目で”率直に診断します。その結果をもとに、所属する組織のリスクセンス度を定量化し、組織と受検者が参考にすべきリスクセンスの具体的指針を示します。
- 〈回答要領〉 「LCB式 組織の健康診断[®]」法による「LCB式 組織の健康診断シート」で「11の診断項目」それぞれについて評価（6段階）を与えます。（本検定公式テキスト『個人と組織のリスクセンスを鍛える』12ページの診断シートを参照）評価は後で修正可能です。
- 〈制限時間〉 制限時間は40分です。説明文をよく読み、率直にかつ慎重に診断してください。
- 〈回答確定〉（第2部終了）全11の診断項目に評価を与えないと終了できません。回答確定後、「次へ」ボタンをクリックします（この時点での回答変更はできません）。これで第2部が終了です。

【受検結果・評価】

- 〈通知〉 受検終了の翌日、受検の結果が出たという「通知」がeメールで届きます。受検時のIDで指定のサイトに入り、自身の受検結果・評価を確認してください（閲覧可能期間は受検完了後1週間です）。
- 〈受検結果・評価〉

① 合否判定（第1部）

* 合否は「第1部：個人のリスクセンス度」で判定されます。
（得点）1問正答につき4点、満点は100点です（全25問）。
（結果・評価シートには、立場別の全国平均点が示されます）

■ 合格・不合格

次の2つを満たした場合「合格」です。

1) 得点合計が76点以上である。

2) 25問中には「正答必須」の11問が含まれています。この11問のうち9問以上を正解する。

不合格者には、どの分野のリスクセンス度が不足しているか示され、今後学習すべき点を確認することができます。（本検定公式テキスト『個人と組織のリスクセンスを鍛える』16ページの検定結果表を参照）

■合格証・称号

合格者には受検コース（立場）により、NPO 法人リスクセンス研究会から次の称号が授与されます。

上級管理職の合格者 「リスクセンス検定・第1種合格」

中間管理職の合格者 「リスクセンス検定・第2種合格」

一般実務職の合格者 「リスクセンス検定・第3種合格」

希望する方には「合格証」をお送りします（発行手数料 1,000 円+税、郵送料 360 円(税込)）。

②第2部（組織のリスクセンス度）

受検者による自身が所属する組織のリスクセンス度評価と、第1部の受検結果を総合的に判断し、NPO 法人リスクセンス研究会の判断基準に則り、受検者と組織のリスクセンスを向上させるに必要な具体的な指針を提案します。（結果シートの例は「リスクセンス検定」または「リスクセンス研究会」ホームページを参照）

[B] 団体受検

1 組織に所属する立場の違う複数人が同時に受検し、“個人と組織の”リスクセンス度の向上を目指す指針を得る受検システムです。

〈申し込み〉 受検実務を担当する団体の代表者が、リスクセンス検定ホームページの「団体受検」から、所定のフォームに必要事項を記入し、検定事務局に「受検申し込み」をします。

〈確認・登録〉 検定事務局より代表者宛、確認の連絡をします。代表者は受検者の構成（立場・人数など）、受検実施時期、準備などの詳細について事務局と打合せます。受検内容を決定し、団体内での準備を整え、また、受検料（原則として各コース共通 3,000 円+税 / 1 人 1 回受検）の支払いを済ませて登録終了です。

〈受検実施〉

① 受検は各個人で行ないます。要領は [A] 個人受検と同じで、定められた期間内に受検を終えます。なお、検定の結果（合否・評価など）も [A] 個人受検と同様に各自が確認し、リスクセンス向上に活用できる指針を得ます。

② 全員の受検終了で団体受検が完了します。

〈受検結果・評価通知〉

リスクセンス研究会は、受検した団体（代表者）に、受験後 1 か月以内を目安に、次の内容の評価書を作成し報告します。

- ・ 3 立場別の得点（平均値）、ばらつきを表示するレーダーチャート
- ・ 3 立場別の得点（平均値）、ばらつきの解析結果
- ・ 解析結果をもとにした組織としての課題などへの指針と対応策を示した提案書

なお、団体・組織として受検する場合、進め方、結果成績の提示・送付方法などについて、さまざまな質問が予想されます。また、リスクセンス研究会としては、組織が抱える課題やそれへの対応策の進め方など、種々のご相談に対応する用意があります。受検を検討する段階で、事前のお問い合わせ、ご相談を遠慮無くお寄せください。

* 以上すべての項目について、内容は変更することがありますのでご了承ください。最新の情報を「リスクセンス検定」または「リスクセンス研究会」ホームページでご確認ください。

「Web リスクセンス検定[®]」で“個人と組織の”リスクセンスを鍛えましょう！